

授業科目

介護総合演習III

担当教員名 岡田 史、白野 絹子	対象学年	2	対象学科	社会（介護福祉コース必修）
	開講時期	前期	必修・選択	選択
	単位数	1	時間数	30

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
○	◎	◎	◎	◎

授業の概要

実習の教育効果を上げるため、介護実習前の介護技術の確認や施設等のオリエンテーション、実習後の事例報告会などによって、実習に必要な知識や技術、介護過程の展開の能力等について、個別の学習到達状況に応じた総合的な学習とする。介護総合演習については、実習と組み合わせての学習とする。

授業の目的

- 1、介護実習1-Bの事後学習として、介護実習1-Bで実践することによって学んだ内容について振り返りまとめる。
- 2、実習で学んだことの中から課題を見つけて分析することによって大学での学びと実習での体験の統合化を図る。
- 3、介護実習1-Cの事前学習として、1-Cで学ぶ内容を確認して実習目標を明らかにすることができる。
- 4、介護実習1-C事前準備を行う。

学習目標

- 1、介護実習1-Bで学んだことを振り返り理論化して、次の実習に活かすことができる。
- 2、介護実習1-Cに向けて準備することについて、主体的に進めることができる。
- 3、施設実習を行う上で留意すべき点について自ら確認できる。

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	事後学習－実習1-Bの振り返りを行う。	演習	岡田 史 白野 絹子 他
2	事後学習－実習において実践で学んだ介護について焦点化を行い検討する。	演習	岡田 史 白野 絹子 他
3	検討内容のまとめを行う。パワーポイントの作成	演習	岡田 史 白野 絹子 他
4	プレゼンテーション	プレゼンテーション	岡田 史 白野 絹子 他
5	介護実習1-Cに向けての事前指導－実習目標について介護実習の手引きをもとにして説明	実習配属の発表	岡田 史 白野 絹子 他
6	介護実習1-Cの意義・各施設の法的根拠・施設の理念・施設の機能等	演習	岡田 史 白野 絹子 他
7	実習目標と課題の記述及び個人票の記入 実習背側施設の発表 実習生としての態度・倫理の再確認	演習	岡田 史 白野 絹子 他
8	感染症予防について	講義	岡田 史 白野 絹子 他
9	認知症について	講義	岡田 史 白野 絹子 他
10	介護実習1-Cに向けて施設サービスの基礎	演習	岡田 史 白野 絹子 他
11	介護実習1-Cに向けて施設サービスの基礎	演習	岡田 史 白野 絹子 他
12	介護実習1-Cに向けて施設サービスの基礎	演習	岡田 史 白野 絹子 他
13	介護実習で学ぶべきことをまとめる	演習	岡田 史 白野 絹子 他
14	決意表明	プレゼンテーション	岡田 史 白野 絹子 他

15	個別面談	個別面談	岡田 史白野絹子 他
----	------	------	---------------

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書						
参考書	実習の手引き					
その他の資料						

評価方法

レポート・事例報告書

履修上の留意点

オフィスアワー・連絡先

相談や質問がある場合は毎週水曜日2限E3 0 4にいらしてください。
連絡先 岡田 fumi-o@nuhw.ac.jp 白野 shirono@nuhw.ac.jp